

7/11 地域創造共催・本物の舞台芸術鑑賞事業
ブラックボトムブラスバンド

ジャズバンド「BLACK BOTTOM BRASS BAND」を招き、小規模小学校でのアウトリーチと市内全中学校3年生を対象としたホール公演を実施。アウトリーチでは児童たちが間近に演奏を体験し、自由に体を動かしながら音を楽しむ姿が見られました。ホール公演では演奏者が客席から登場し、会場の熱気は一気に高まりました。またアウトリーチ同様に身体を動かしながら音楽を楽しむ自由な鑑賞スタイルで、終始歓声に包まれていました。

- 音楽がこんなに楽しいものとは。生演奏を聞く経験がほとんどない生徒達がこれほど音楽に乗って浮きだっている姿に感動しました。(70歳以上・宇土市)
- この企画は毎年心待ちにしています。普段縁の無い中学生の皆さんと楽しい時間を共有できるので!! (60代・宇土市)

●素晴らしいコンサートでした。生の音楽に触れることの少ない子供達にとっては音楽の楽しさを知る良いコンサートだったと思います。音楽の好きな子供達が増えることを願ってます。(70歳以上・八代市)



7/9～7/10の両日、緑川小学校、走潟小学校、網田小学校、網津小学校にてアウトリーチ

8/3
8/11 夏休みファミリープログラム～お話をきく 体験する～
はじめての狂言熊本県立劇場共催
はじめての落語

夏休みファミリープログラムとして、8月に落語・狂言ワークショップとダンスワークショップをに開催。

落語・狂言の開催日(8月11日)は大雨の影響により、申込み数のおよそ半分程度の参加でしたが、親子が一緒に伝統芸能や舞台表現に触れる貴重な機会となりました。ダンス

- では初め戸惑っていた子どもたちも帰る頃には満面の笑顔になっていました。
- 狂言ワークショップ講師：狂言みのる会(田嶋晴雄)
- 落語ワークショップ講師：三遊亭好一郎
- ダンスワークショップ講師：古家優里(プロジェクト大山)、アシスタント：仁科幸

- 狂言は、TVでしか観たことしかなく、実際に学ぶことが出来て、狂言の魅力面白さを感じることができました。(41歳・宇土市)
- 歩き方の体験が楽しかったそうです。家でもしっかり見せてくれました。日本の伝統芸能に触れる機会なかなかないので、とても貴重で楽しかったです。(41歳・宇土市)
- 落語は話を聞いていてとても面白かったです。先生の話は楽しかったです。(41歳・宇土市)
- 落語家の話がとても上手であっという間に感じました。(45歳・宇土市)
- 子どもがとても楽しく活動していました。参加料も丁度良いです!(61歳・宇土市)
- 古家先生に会うことができた。ダンスレッスンの内容が型にとらわれず、自由な発想で子どもがとても楽しんでいた。子育てのヒントになりそう。(35歳・宇土市)

ダンスを創ろう!



9/10～9/12 公共ホール現代ダンス活性化事業(地域創造共催)



本事業は、公共ホールダンス活性化事業として、ダンサー・振付家の岩淵貞太氏を迎え、「からだのこえに、耳をすます」をテーマに実施しました。学校や福祉施設、企業、行政など、さまざまな場所に出向き、コンテンポラリーダンスを通して、自分の身体や気持ちにそっと目を向ける時間を共有しました。

鶴城中学校バトン部では、はじめは戸惑いを見せていた生徒たちが、次第にのびのびと身体を動かし、仲間との関わりを楽しむ姿が印象的でした。特別支援学級では、一人ひとりのペースが大切にされ、安心できる空間の中で、表現することの楽しさを自然に感じ取っている様子が見られました。また、外国人技能実習生や市役所職員とのワークでは、言葉や立場の違いを越えて交流が生まれ、文化芸術が人と人をつなぐ力をあらためて実感する機会となりました。

本事業は、参加者それぞれの心と身体に小さな気づきと余韻を残し、次年度に予定している市民参加型の創作活動へとつながる、確かな第一歩となりました。

11/15
11/16 文化庁地域文化財総合活用推進事業
第10回 地域伝統芸能祭

初めて有料公演としました。「創作エイサー LUCK」は伝統と現代表現を融合させた独自のステージで、伝統的なエイサーとは一味違った魅力で来場者にインパクトを与えました。「十善寺龍踊(じゅうぜんじじゃおどり)」は舞台上に数段席を設ける演出を行い、他の出演者が着席。「もってこーい」の掛け声が響く祝祭的な舞台となりました。ほかに、宇土市の宇土雨乞い太鼓保存会(紬衣・宇土高校和太鼓部)、宇土御獅子舞保存会、松山花棒踊り保存会、天草市の柗太鼓踊り保存会が昨年に引き続き出演しました。

- 沖縄の創作エイサー LUCK さんの身体能力にビックリしました。長崎の龍踊りも初めて観ることができました。(60代・宇土市)
- 感動しました。県外の伝統芸能も魅力的で、最高の公演でした。これからも頑張ってください。(60代・熊本市)
- 松山花棒踊りの子供達ががんばってください。保存会の方々の苦労も大変でしょうが、がんばってください。八代の植柳小学校3、4年生が運動会で80名位で、花棒を踊りました。(60代・八代市)

1日目には芸能の継承と未来の文化創造をテーマとしたトークイベントを開催しました。

パネラー：小越友也氏(沖縄・がらんホール プロデューサー)・小岩秀太郎氏(東京鹿踊 代表) 宇土市民会館マネージャー高田。御獅子舞保存会の役員からは「若い世代に伝えたかった想いを代弁してくれた」との声が寄せられるなど、保存会自身の価値再認識につながりました。※動画配信中(宇土市民会館ホームページから動画をご覧ください。)



第10回という節目の年として県外から2団体を招聘(沖縄県宜野座村の「創作エイサー LUCK」、長崎市の「十善寺龍踊」)、

12/28 三井住友海上文化財団共催
古部賢一&鈴木大介
オーボエ・ギターによるクリスマスコンサート

クラシック界の第一人者として活躍中の、古部賢一(オーボエ)と鈴木大介(ギター)のお二人による「クリスマスコンサート」。

第1部はクリスマスにちなみ、バッハなどの教会音楽やお馴染みのクリスマスソングを、第2部

はそれぞれの楽器の持ち味を生かした曲や二人で制作したアルバムからの選曲やトークで楽しませて頂きました。

[演奏曲]

♪主よ人の望みの喜びよ ♪ホワイト・クリスマス ♪ボンパイヤ ほか

- マルチェロ全楽章聴けてうれしかったです。めちゃくちゃすばらしかった!! 古部さんの体力が底知れない。すごい、あんなに吹さばなしたなんて!(50代・県内)
- ピアノの3曲がきけて幸せでした。1年の最後をしめくくるすてきなクリスマスコンサートでした。オーボエのやさ

しい音色で心温まりましたし、知らなかったオーボエと楽器に親しみをもちました。シェルブールの雨傘は美しくやさしいギターの音色にもリズムの変化にも感動しました。(70代・宇土市)- オーボエの音色がとても素敵でした。ギターも心地よい音でした。心がほんわかするようなコンサートでした。音楽そのものもそうですが、暖かな人柄が感じられるトークで親しみやすく、楽しく聴くことができました。(70代・宇土市)

●古部さんの弱音美しい。時にはサクスのように、時にはトランペットのように変幻自在のオーボエよかった。鈴木さんは弦に触れるだけでいい音が出る、そんなギタリストは他にいません。二人ともすばらしい! 話もおもしろい!(60代・県外)

1/18 熊本県立劇場共催
新春うと寄席 三遊亭好楽 落語会

熊本県立劇場ネットワーク事業を共催で実施。「笑点」メンバーの三遊亭好楽と弟子の三遊亭好一郎、三遊亭好好(落語)、本田浩平(津軽三味線)が出演。落語では笑いが絶えず、津軽三味線では感動し涙するお客様もいて、全体の満足度は高かった。



- 年の初めに落語や三味線を楽しむことが出来て有意義な時間でした。落語は好きで日頃からYouTube等で楽しんでいます。寄席も何度もお邪魔しています。笑うことはとても良いですね。これからも楽しみたいと思います。(60代・熊本市)
- 津軽じょんがら節を聴いて泣いてしまいました。生きるエネルギーになります。西洋音楽にないリズムや節回しなどが心に響いています。(50代・熊本市)

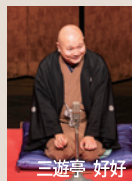
●津軽三味線のパチさばきに感激でした。素晴らしい音色でした。楽しい語りの落語とても楽しかったです。ありがとうございました。(70歳以上・宇土市)



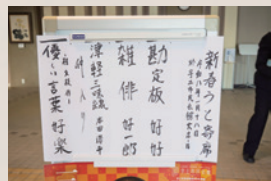
本田 浩平



三遊亭 好一郎



三遊亭 好好

10/4 協力事業
ミュージカル あらしのよるに

当館の協力事業としてPRと当日運営をサポートしました。マスクプレイではないにもかかわらず、子どもたちもすぐに引き込まれ、主人公らに声援が飛んでいました。

原作/きむらゆういち「あらしのよるに」
主催:(公財)日本児童青少年演劇協会
協力:宇土市民会館・(特非)熊本県子ども劇場連絡会
後援:宇土市教育委員会

令和7年度事業を振り返る 館長 本田 恵介

今年度事業も3月の「春の音楽の祭典」「宇土太鼓祭」を残すのみとなりましたが、これまでの事業を振り返ってみたいと思います。

このところの物価高騰は社会のあらゆる領域に影響していますが、文化事業の企画・実施においても例外ではありません。そのためできるだけ費用負担を抑えたなかで充実した事業を実施するため、`選択、と`連携、に努めました。

選択においては、宇土市の`こどもどもんなか計画、を念頭に、宇土の未来を担うこどもたちに豊かな芸術体験を提供することに注力しました。

連携では、国や県、民間の支援や助成をできるだけ活用した事業に多く取り組んでいます。

市民のみならず、これからもさまざまな自主文化事業を楽しんでいただけるよう、情報とネットワークを駆使して充実に努めてまいります。



アウトリーチのユコマ
講師:大迫 旭洋さん